

### ボルグワーナー、北米大手OEM向けに 双方向800ボルト車載充電器を供給

- OEM製プレミアム・バッテリー電気自動車 (BEV) プラットフォームに搭載予定の800Vオンボード・バッテリー・チャージャー (OBC=Onboard Battery Charger)
- ボルグワーナーの炭化ケイ素 (SiC) 技術と双方向ビークル・ツー・ロード (V2L=Vehicle-to-Load) 機能を活用
- 単相19.2kW、三相22kWなど、さまざまな出力に対応
- ボルグワーナーにとり北米初のオンボード・チャージャー受注獲得

革新的で持続可能なモビリティソリューションを自動車業界に提供するボルグワーナー(NYSE:BWA/本社:アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者:フレデリック・リサルド/Frederic B.Lissalde)は、高級バッテリー電気自動車 (BEV) プラットフォーム向けに双方向800V オンボード・チャージャー (OBC) を供給する契約を北米の大手 OEM メーカーと締結しました。技術的特徴としては、炭化ケイ素 (SiC) パワースイッチの採用があり、これにより効率を改善し、電力密度と電力変換を増幅した上で安全性コンプライアンスを確保しています。生産開始は2027年1月を予定しています。

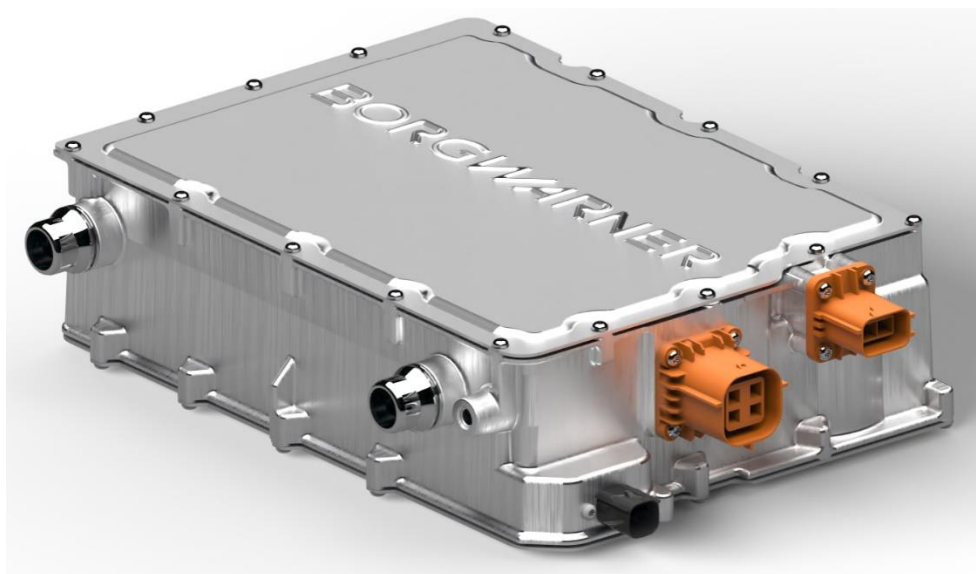
ボルグワーナー・パワードライブシステムズの社長兼事業本部長であるステファン・デメール博士 (Dr. Stefan Demmerle) は次のように述べています。

「これはボルグワーナーのチームにとり大きな快挙です。今回、初めて OBC の受注を頂いた OEM ですが、北米における OBC の初受注でもあります。世界トップクラスのパワーエレクトロニクスの知見および 800 ボルトと炭化ケイ素技術により、地域ごとに異なる送電網の構成に対応

しながら、充電出力能力を最大化し、電力密度を高めつつ効率を向上させるソリューションを当社は提供することができます」

電気自動車に搭載されたボルグワーナーの OBC 技術は、送電網からの交流電力（AC）を直流電力（DC）に変換してバッテリーを充電します。OBC は 19.2kW の単相交流から 22kW の三相交流まで対応可能です。出力が 19.2kW では単相グリッド接続のために 2 本の電力線を使用しますが、これは米国市場特有のものです。出力が 22kW の場合、三相グリッド接続を使用し、欧州市場での使用を想定しています。19.2kW の単相充電器は、現在米国市場に導入されている唯一のものとなります。

OBC は双方向の V2L（Vehicle-to-Load）動作モードを内蔵しており、ユーザーは車両のバッテリーパックからさまざまなスタンドアロン・アプリケーションを充電することができます。これは、業界内でますます望まれている機能です。さらに、充電器のハードウェア、ソフトウェア共にボルグワーナーが設計・製造しています。



ボルグワーナーは、北米の大手 OEM メーカーとの間で、同社の高級バッテリー電気自動車（BEV）プラットフォーム向けに双方向 800V オンボード・チャージャー（OBC）を供給する契約を締結しました。技術的特徴としては、炭化ケイ素（SiC）パワースイッチの採用があり、これにより効率を改善し、電力密度と電力変換を増幅した上で安全性コンプライアンスを確保しています。

## ボルグワーナーについて

ボルグワーナーは、130年以上にわたり、モビリティのイノベーションを成功に導く、変革的なグローバル製品リーダーであり続けています。すべての人にとってよりクリーンで健康的、かつ安全な未来を築くために、世界のeモビリティへの移行を加速させています。

URL: <https://www.borgwarner.com/home>

本リリースに記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待事項、試算、推定に基づく、1995年米国私募証券訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「影響」、「試算する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「指針」、「取り組み」、「意図する」、「場合がある」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「予見する」、「推定する」、「追求する」、「目指す」、「すべきである」、「目標とする」、「の場合」、「でしょう」、「かもしれない」などの文言、その変化形および同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを意図しています。さらに、歴史的事実に関する記述を除く、本リリースに含まれるかまたは言及する形で盛り込まれた当社の財務状況、事業戦略、当該戦略を実施するための手段などに関して、将来起きる、または起きる場合があると当社が期待する、または見込むあらゆる記述は、将来予測に関する記述です。その例として、業務の変更、競争上の強み、目標、当社事業および業務の拡大と成長、計画、将来の成功に関する言及などがあります。当社の直近のForm 10-K年次報告書(以下、「Form 10-K」)の第7項「重要な会計方針および試算(Critical Accounting Policies and Estimates)」で記述されたものをはじめとする会計上の試算は、性質上、将来予測に基づくものです。すべての将来予測に関する記述は、歴史的な動向、現在の状況、期待される将来の進展、当社がそれらの状況下で適切と考えるその他の要因に関する当社の経験と認識を踏まえた当社による仮定および分析に基づいています。将来予測に関する記述は業績を保証するものではなく、当社の実際の業績は、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄と著しく異なる場合があります。

これらの将来予測に関する記述は、本リリースの発行日における事柄を述べたものであり、過度に依存すべきものではありません。将来予測に関する記述にはリスクおよび不確実性が伴いますが、それらの多くは予見困難かつ一般的に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄とは著しく異なる実際の結果をもたらす可能性があります。そうしたリスクおよび不確実性の代表的な例として次のものがあげられます。当社または当社顧客に影響を及ぼす供給停止(受託製造会社(OEM)顧客および当社を含むそのサプライヤーに影響を与えている現在の半導体チップ不足等)、商品の入手可能性や価格及びこれらのコストに関する顧客との交渉において期待されるレベルの回収率を達成できないこと、OEM顧客を含む既存および新規競合会社との競合、急速に変化するテクノロジー(主に電気自動車関連)およびそれに対する当社の革新能力に関連する課題、新型コロナウイルスに関連する事態が及ぼす影響の範囲および期間に関する不確実性(さらなる生産停滞等)、電気自動車の需要予測および電気自動車売上成長率の予測の困難、ロシアのウクライナ侵攻による世界経済の潜在的混乱、買収対象を特定し許容できる条件で買収を完了する能力、買収から期待される利益の適時な実現の不実施、分割取引が意図した利益を達成できない可能性、取得した事業の迅速かつ効果的な統合の不実施、取得した事業に関連する未確認または推測不可能な債務の可能性、自動車およびトラック製造(いずれも景気に大きく左右され、需要縮小の可能性もある)への当社の依存性、大手OEM顧客への当社の依存性、金利の変動および外貨の為替レートの変動、様々な情報システムへの当社の依存性、世界経済環境の不確実性、様々な申し立てに関する訴訟を含む、既存または将来の法的手続き、または関連する訴訟を含む政府の調査の行方、当社が事業を展開している国における税金や関税などの法規制の将来的な変更、将来の買収または売却の可能性がもたらす影響、直近のForm 10-Kおよび/またはForm 10-Qの第1A項「リスク要因(Risk Factors)」など証券取引委員会に提出する報告書に記載したその他のリスク、など。当社は、期待事項の変更または記述の根拠となる出来事、条件、状況、仮定の変更を反映するために、本発表文に含まれる将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

### <報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 中井、小野田

TEL: 070-4303-7215(中井)

EMAIL: [borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp)